

起動チェックリスト

事前準備 (所要時間 60分) : OK?

- ・分電盤 SW200V On、200V ケーブルが装置に接続されているか確認
- ・ロータリーポンプのガスバラストバルブが閉じているか



(MS40 の場合はバラストバルブはありません)

- ・ロータリーポンプの筐体が冷たくないか? オイルレベル OK か? 確認

***冬場に空調が落ちている場合にポンプの筐体が冷えてオイルが固くなっていますこの状態起動すると装置のヒューズが切れる場合がありますご注意ください。**

- ・窒素ガス発生装置の電源を On にします。 **30分以上**暖機運転します



圧力: **0.65MPa** (規定値 **0.6~0.7MPa**)、フローバルブ **フル Open** 確認

起動手順 (所要時間 3~12時間) : OK?

1. 装置の電源を投入します。

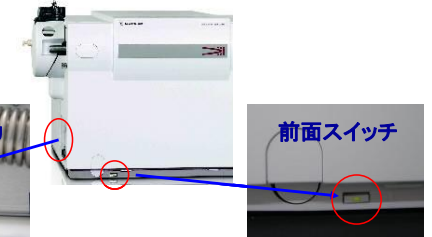
G61xx A/B/C : スイッチは1ヶ所になります。

- ・本体正面左下のスイッチ



G1946、G1956 : スイッチは2ヶ所になります。

- ・本体左側面真中下部白色のスイッチ
- ・本体正面左下のスイッチ



2. ロータリーポンプが起動し始めた事を確認します。

3. ターボが起動し回転し始める事を確認します。

4. 異音がないかポンプが停止しないか確認し暫く様子を見ます。

5. PC を立ち上げ、Windows をログインします。

6. LC 各モジュールの電源スイッチを入れます。

7. イニシャライズが終了したら ChemStation を起動します。

起動後、[Diadnostic]画面を表示します。

8. MS Vent →More で真空度が下記の推奨範囲に入る事を確認します。 OK?

推奨値 : (推奨値にならない場合には一晩程度安定時間を取ります)

Rough Vacuum: 1.0-2.5(6110,6120,6125)

2.0-3.5(6130,6135,6140,6150,1946,1956)

High Vacuum: 3.0*10⁻⁶-2.0*10⁻⁵ torr MS On の状態で 10⁻⁶ レベルに到達する事

Speed: 96-103%

Power: <120W(6110,6120,6125)、 <130W (6130,6135,6140,6150,1946,1956)

G1946 ターボ 2 基、G1956ターボ 1 基、G61xxターボ 1 基

真空度確認 (所要時間 15分~30分) : OK?

1. MSD Tune の画面へ移動しオートチューンのファイルを読みます。

2. マニュアルチューニングでピークを確認

3. チェックチューニングを実行し装置の状態を記録します。問題無ければ使用可

4. 使用する質量数範囲では OK で HighMass のズレが大きい場合使用可

装置が安定してから再度オートチューニングにて動作確認をお願いします。